

ふじあさみ

発行
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所
静岡県富士宮市三園平1100
電話 0544-27-5221
<http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

フォーカス

土砂災害を防ぐ 富士山スラッシュ雪崩に対する砂防施設の効果



土石流 (スラッシュ雪崩) の流れ

大沢扇状地 平成27年4月23日 撮影

平成27年4月20日、富士山大沢崩れからスラッシュ雪崩による土石流が発生しました。

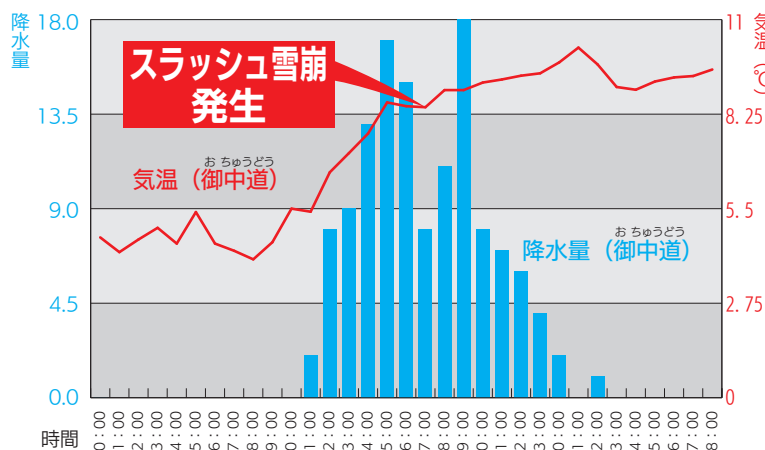
土石流は、大沢崩れの下流にある扇状地に流れ出ましたが、富士砂防事務所で設置した砂防施設「大沢扇状地上流（第7上流床固工）上流」にて捕捉をし、その効果を発揮しました。

気象状況

4月20日大雨が発生したことと、南よりの風により気温が上昇したことから、大沢崩れでスラッシュ雪崩が発生し土石流となって流れ下りました。

20日の大沢川上流（御中道）では、午前11時過ぎ頃から雨が降り始め、午後3時には時間17mmを観測。降り終わりの21日午前3時の時点で累計129mmの降雨を観測しました。

一方、気温は、20日午前8時頃に4℃であったのに対し、スラッシュ雪崩発生時の午後5時過ぎは9℃であり、9時間で5℃上昇していました。

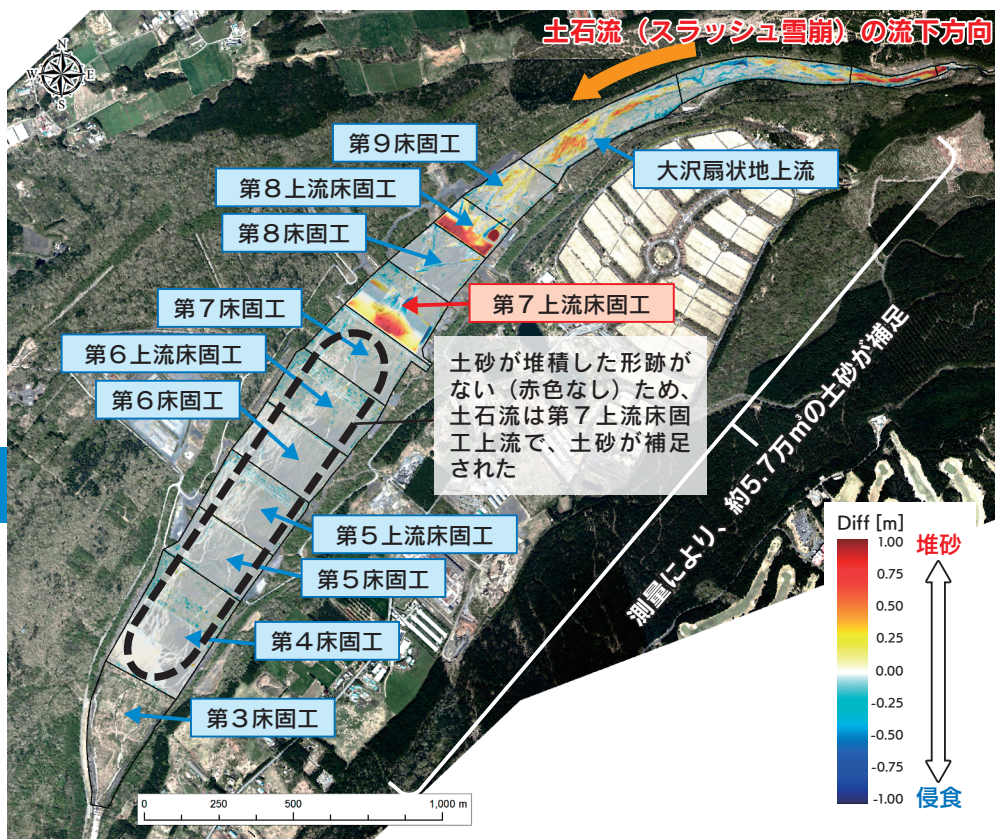


スラッシュ発生時の対応経過

富士砂防事務所では、監視体制を強化しており、20日17時頃に土石流（スラッシュ雪崩）を監視カメラで確認しました。

4月20日

- | | | |
|-------|------------------------|----------|
| 9:36 | 富士山南西 | 大雨注意報発令 |
| 10:21 | 富士五湖 | なだれ注意報発令 |
| | 監視カメラにより監視を開始 | |
| 17:00 | 御中道雨量観測所にて連続雨量50mm超過 | |
| | 土石流（スラッシュ雪崩）を確認 | |
| 17:15 | 富士砂防事務所 | 注意態勢発令 |



スラッシュ雪崩とは

スラッシュ雪崩とは、大量の水分を含んだ雪が山の斜面を下る雪崩のことで、下流へ下るにつれ周辺の土砂を巻き込み、土石流化するものです。

富士山に積雪があるとき、急激な気温上昇やまとまった雨が降った場合に発生しやすく、春先や冬のはじめに多く発生します。

また、富士山周辺では、このスラッシュ雪崩が雪代と呼ばれており、古くから恐れられている現象です。



平成19年3月 富士スカイライン被災状況

おお さわ せん じょう ち

大沢扇状地における土石流の捕捉

土石流発生後の平成27年4月23日に、航空レーザ計測により土石流（スラッシュ雪崩）の堆積状況を調査しました。

土石流（スラッシュ雪崩）は、大沢扇状地内で約5.7万㎡（ダンプトラックで1万1千台分）が捕捉されていることが明らかになりました。

また、主に大沢扇状地の第7上流床固工上流までの区間に堆積しており、これら砂防施設により下流への被害は発生していません。

第7上流床固工
第7上流床固工の上流側で、土石流を捕捉!!



おお さわ せん じょう ち だい じょうりゅうとこがためこう
大沢扇状地の第7上流床固工（上流側）堆積状況

おお さわ せん じょう ち だい じょうりゅうとこがためこう
大沢扇状地の第7上流床固工（上流側）堆積状況



2014/11/4 撮影

土石流の流下方向

- 第7上流床固工上流の河床で堆積
- 茶色い雪水が溜まっている



2015/4/24 撮影

土石流の流下方向

大沢崩れの砂煙

平成27年9月30日と10月7日に、富士山では強い風が吹いており、大沢崩れにて、大規模な砂煙が発生しました。

富士砂防事務所では、監視カメラと工事の関係者からの情報により、土石流や噴煙ではなく、強い風により、砂が舞っていることを確認しました。

富士山は、雲に隠れることが多く、風が強い日でも晴れていなければ、このような現象を目にする機会がありません。

秋になり次第に空気が澄んできたため、富士山が綺麗に見え、このような現象を見ることができました。

風が穏やかな時の富士山



おお さわ せん じょう ち
大沢扇状地からの富士山の状況（平成27年10月7日）



おお さわ せん じょう ち
山頂近くの大沢崩れの状況（平成27年10月7日）





用地課事務官

皆さん、こんにちは！わたしは砂防事業に必要な土地を取得する用地課に所属し、主に清水区由比の地すべり対策施設を整備するための用地取得を行っています。静岡県に来ること自体はじめてのわたしには富士山がいつも見えることを含め毎日が新鮮で楽しい日々を送っています。用地課の仕事は地権者の皆さまと直に接するといった点で、その地域性や個人の考え方にも触れることができるのでとても勉強になっています。

富士砂防事務所の仕事は砂防施設や地すべり施設を整備することであり、人々の生活や社会を影で支える重要な仕事であると思います。半年経った今、そのやりがいをとても感じています。



調査課技官

富士砂防事務所が何をしているか、ご存じでしょうか？

入局前、私はそもそも「国土交通省」がどんな行政機関で、どんなことを行っているのか、土木を学んでいる身でありながら知りませんでした。私がそうだったように多くの方は漠然と「道路」だとか「公共事業」だとか、具体性を持たない認識だと思っています。だからこそ、私は砂防えん堤工事に携わる仕事に加えて、より富士砂防事務所を知っていただくために広報の仕事をしております。工事を進めることだけではなく、それらの意義や効果を広くアピールしていくことが責務ではないかと思うようになりました。

この『ふじあざみ』も手に取っていただいた方へ、より公共事業を、強いては富士砂防事務所について理解を深めていただければと考えております。

information information お知らせ information information

イベント予定

12月5日(土) サイエンスワールド

子供たちを対象に体験をととして、科学に対する興味や関心を高めるため、富士宮市教育委員会が事務局となり、富士宮市民文化会館で「サイエンスワールド」を開催します。

富士砂防事務所は、「土石流ってなんだろう？」と題して、富士山周辺の3D模型や3D画像を使って、溶岩が流れるときのシミュレーションや、土砂災害の模型による砂防えん堤施設の効果を体験してもらう予定です。

イベント報告

10月24日(土) 由比地すべり親子見学会

静岡県、静岡市と協力し、静岡市内の小学生を対象に、由比地すべり対策事業を実施している静岡市清水区由比地区(由比サツ峠)において、親子見学会を開催しました。

1部2部合わせて14組35名の参加者は、サツ峠展望台～深礎杭施工現場～排水トンネル施工現場を回りながら、地すべりの原理や対策工法について、クイズ形式や模型を用いた説明を受けました。

参加者からは深礎杭の効果が分かる模型に歓声があがり、地すべり対策事業への興味を持っていただけたと思っています。



排水トンネル前での説明

10月31日(土) 砂防親子見学会

(一社) 富士建設業協会、静岡県、富士宮市と協力し、富士宮市内の小学生を対象に、砂防事業を実施している風祭第1砂防えん堤工事と大沢扇状地において、体験型の親子見学会を開催しました。

11組32名の参加者は、砂防えん堤で使っているソイルセメントを作ったり、建設機械の試乗や測量の体験をし、砂防事業や建設の仕事の理解を深めてもらいました。



●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100 TEL 0544-27-5221 担当/調査課

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/> E-mail fujisabo@cbr.mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9 TEL 0544-54-0236

■由比出張所 〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8 TEL 054-389-1202

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「富士砂防現場見学と出前講座」の欄をご覧ください。

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本にしています。今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。